



き



ず



な



便



り

令和8年

9月
September

日本の美しい言葉 新 涼 灯 火 (しんりょうとうか) 秋の涼しくはじめた頃は、灯りの下で読書をするのに相応しい時期である。

皆さまこんにちは。 介護用品販売・レンタルきずなの木村です。

朝夕の風に少しずつ秋の気配を感じる頃となりました。皆さま、いかがお過ごしでしょうか？

9月にはシルバーウィークもあり、家族やお友達と過ごす機会も増えるかと思います。

夏の疲れが出やすい時期でもありますので、体調に気を付けながら無理なくお過ごしください。

私事で恐縮ですが、9月1日より産休に入らせていただくことになりました。

しばらくの間お休みをいただきますが、復帰の際にはまた皆様とお会いできることを楽しみにしています。



きむら



『 身近に起きた水害 』



日本各地で大雨による災害が多発しておりますが、9月に入ってから青森市や五所川原市で警戒レベル5「緊急安全確保」が発令される水害が発生しました。

もしも私たちの住む弘前市で大雨が降った場合、土淵川、岩木川、平川、後長根川などが氾濫源として挙げられており、最大浸水深が5m以上の浸水想定区域が37.6%も指定されています。

また、143箇所の土砂災害警戒区域や特別警戒区域が指定されています。



◎ いざという時の避難の心得 ◎



①正しい情報収集と早めの避難行動

テレビやラジオなどで最新の気象情報、火災情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難を行いましょう。



②動きやすい恰好で避難する

動きやすい服装をして、必要最小限の荷物で避難しましょう。



③安全な経路で避難する

河川や水路、浸水している場所には、絶対に近づかないようにしましょう。

④夜間を避け、明るいうちに早めに避難する

夜間の避難は、暗くて周りの状況確認しにくいいため非常に危険です。

可能な限り明るいうちに避難しておきましょう。



介護用品販売・レンタル

きずな



お困りごとはありませんか？ お気軽にご相談ください。

株式会社ライフサポート

〒036-8091 青森県弘前市高崎2丁目7-7

TEL.0172-29-3730 FAX.0172-28-7874

⑤履きなれた動きやすい靴を履いて避難する

水の中を避難するときには、長靴やサンダルでは**脱げてしまう**危険性があります。



⑥氾濫した水は勢いが強い

氾濫した水は勢いが強く、水深がヒザ程度までであると、大人でも歩くのが困難になります。緊急時には、無理に水の中を歩かずに**高い建物**に留まることも選択肢のひとつです。



⑦避難の際は車の使用を控えましょう

流れに巻き込まれたりして、**走行が困難**になることもあります。



⑧水の中の障害物に注意しましょう

やむを得ず水の中を移動するときは、**棒を杖がわり**にして足元を確認しながら進みましょう。

弘前市では、避難するのが難しい高齢者や障がい者の方々を「避難行動要支援者」として事前に把握し、災害時の避難支援や安否確認などを行うため、「避難行動要支援者名簿」や「個別避難計画」を作成し、平時から避難支援等関係者に情報提供することに取り組んでいます。

災害のときにどうしたらいいのか、ご家族やケアマネージャーなどに相談してみましょう。



今月のお話 『弘前の水害歴史』



岩木川は上流の河床勾配が急で、豪雨の時には短時間で洪水が集中しやすい特徴があり、弘前市は昭和期にも複数回の大規模水害に見舞われてきました。

昭和35年、岩木川上流で集中豪雨が発生し、岩木川、平川、大和沢川が氾濫。



「石川病院」や「和徳し尿処理場」が浸水するなど衛生面でも甚大な被害を出し、

被害総額は約3億8,000万円に上り、市は災害救助法や伝染病予防法を適用し、消毒や予防接種を行い悪疫防止に努めました。



昭和50年には、土淵川が氾濫して中心商店街が被害を受けています。

この水害は台風5号によるもので、平川や浅瀬石川も氾濫し、被害者は約3万5千人、被害額は200億円に達しています。下土手商店街や橋梁の流出など、大きな被害をもたらしました。



昭和52年、「ハ・五水害」と呼ばれる水害が発生し、被害額は2年前の水害を上回り、床上浸水や家屋の全半壊、橋梁流出、多数の死傷者を出しています。

過去の被害記録は、現在の防災計画や避難行動の参考として活用されていますが、一番大切なのは私たちの防災への意識です。と、これを書いている私自身まだまだ意識不足なので……これからも精進します！💧